



3.4

2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

河村 佳穂里
歯学部
口腔衛生学講座

歯科医療サービスに関するデータ分析で QOL 向上を実現

日本は、世界に例を見ないスピードで高齢化が進行し、健康寿命をどう延ばすかという問題解決に向けて、健康・医療・介護情報の利活用が急速に進められています。現在、医療保険者のレセプト・健診情報等を活用した歯科疾患、口腔癌に関するデータベース研究、地理情報システムを活用した、歯科診療サービスの需要と供給に関する疫学研究などに取り組んでいます。今後ますますICTインフラが整備されていく中で、口腔衛生学に携わる立場から、健康寿命の延伸に寄与できる成果を創出していけるよう励んでいきたいと思っております。

message

これまで、SDGsと自身の研究がいかに関わり付けられるかということ考えたこともなかったため、今後はそのような視点で日々研究立案することの重要性に気づけたことが大きな収穫でした。